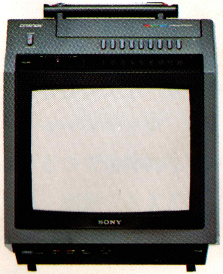
SONY®

トリニトロン®カラーテレビ

KV-1375A



ジェットセンサー
プラストリニトロン
CITATION
オーディオ出力端子つき

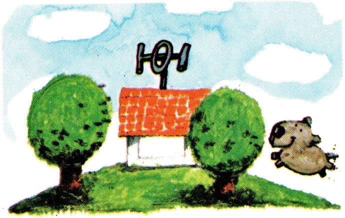
上手な使いかた

お買い上げいただきありがとうございます。

この説明書を読んで正しくお使いください。
保証書と説明書、サービス窓口のしおりは、いっしょに保管してください。

©1977 by Sony Corporation

番号順にお使いください　ふだんはこれだけできれいに映ります

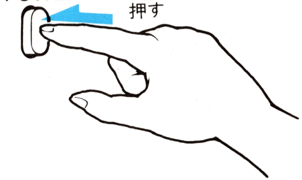


屋外アンテナの場合

アンテナはつながれていますか(20ページ)

電源コードはつなぎましたか。

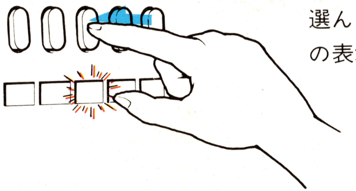
1 電源スイッチをいれます。



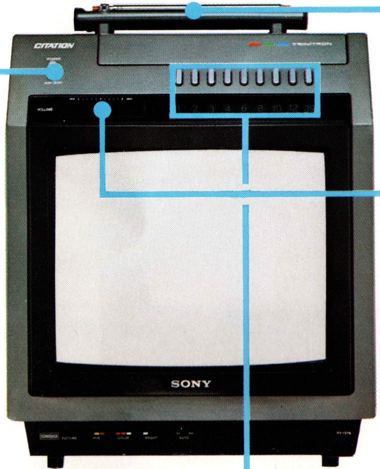
消すときは
もう一度押します。

2 見たいチャンネルを選びます。

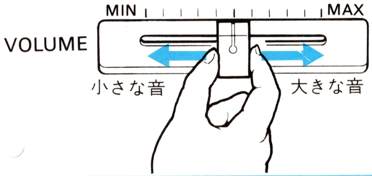
お好みのボタンを押します。
選んだチャンネル
の表示ランプがつきます。



ご注意：2つ以上同時に押すと、画が出ません。
画と音が出ず、表示ランプもつかない
ときは→19ページ左上



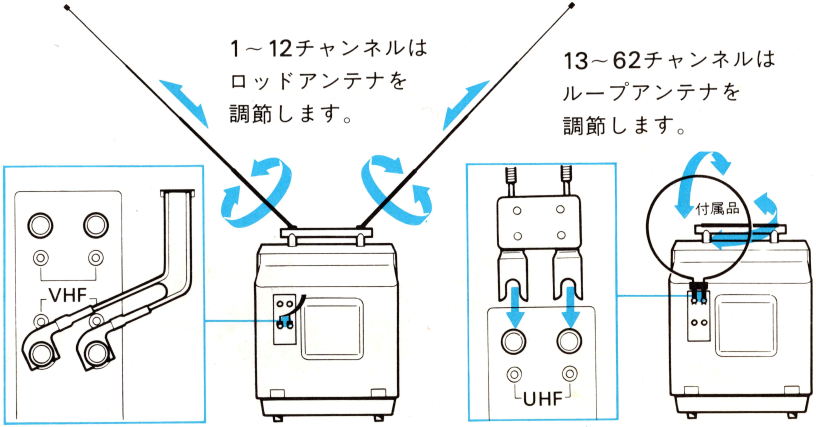
3 聞きやすい音にします。



4 きれいな画になるように **アンテナを調節します。**

1〜12チャンネルは
ロッドアンテナを
調節します。

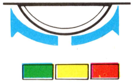
13〜62チャンネルは
ループアンテナを
調節します。



色を調節するには

肌が自然な色にみえるようにあわせます。

緑がかっているときは
↺へ

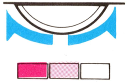


HUE

色あいつまみ

紫がかっているときは
↻へ

色が濃すぎるときは
↺へ



COLOR

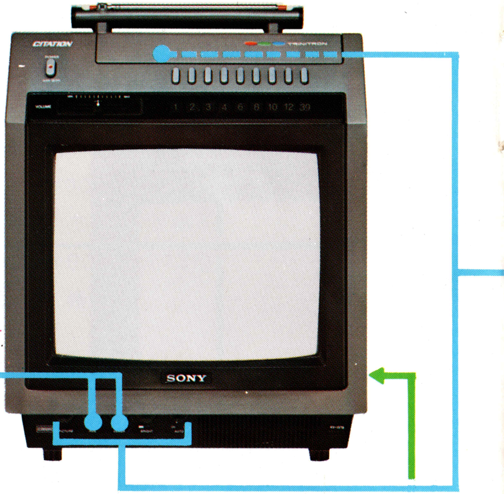
色の濃さつまみ

色がつかないときは
↻へ

2つのつまみとも、つまみが左右にまわる範囲のまん中近くが調節の目安です。
色は、番組や放送局によって多少変わります。
生放送など、色調のよい番組のときに調節するとよいでしょう。

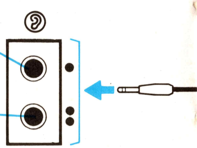
色はやや薄めのほうが、目がつかれません。

きれいな画



（テレビの右横）

イヤホンで聞くには

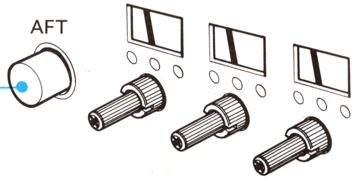


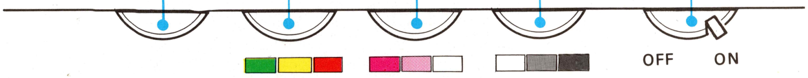
イヤホンだけから
聞こえます。

イヤホンとスピーカー
から聞こえます。

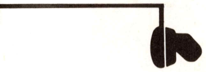
つまみの標準位置

おおよその目安とお考えください。ふだんはこれできれいにうつります。

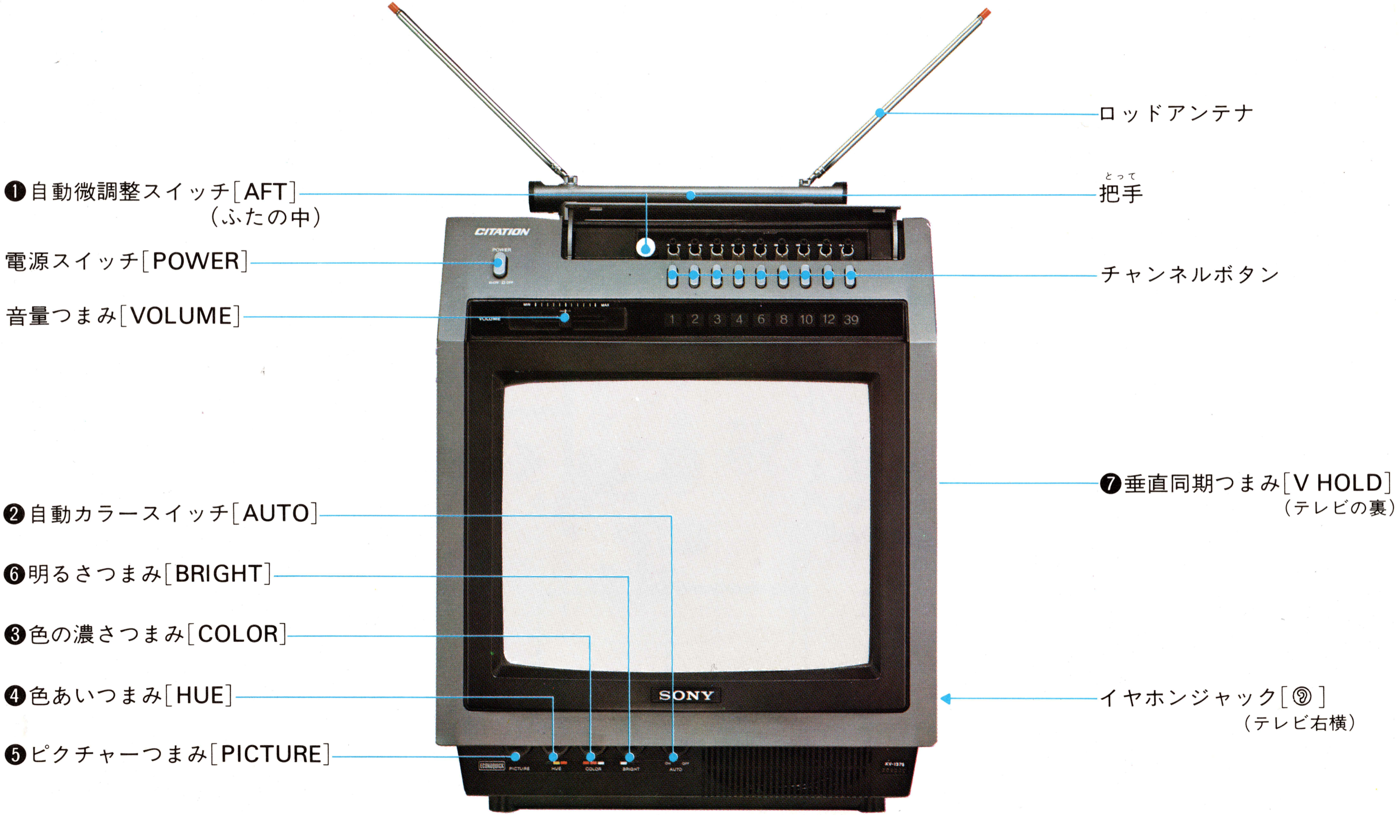




付属のイヤホンを
お使いください。



各部の名称と働き



ロッドアンテナ
❶自動微調整スイッチ[AFT]
(ふたの中)
把手(とって)
電源スイッチ[POWER]
チャンネルボタン
音量つまみ[VOLUME]
CITATION
POWER
VOLUME
MIN
MAX
1 2 3 4 6 8 10 12 39
❼垂直同期つまみ[V HOLD]
(テレビの裏)
❷自動カラースイッチ[AUTO]
❻明るさつまみ[BRIGHT]
❸色の濃さつまみ[COLOR]
❹色あいつまみ[HUE]
SONY
イヤホンジャック[⑳]
(テレビ右横)
❺ピクチャーつまみ[PICTURE]
PICTURE
HUE
COLOR
BRIGHT
ON
OFF
AUTO

❶自動微調整(びちょうせい)スイッチ[AFT]

テレビを、放送局の電波に正確にあわせる、自動微調整回路のスイッチで、ふたの中にあります(次ページ、プリセットを参照)。

ON(押す):ふだんはこの位置でごらんください。プリセットが多少ずれていても、自動的に放送局の電波にあわせて、画面を正しく保ちます。

OFF(もう一度押す):もしも電波状態がひどく悪くONのままでは画が乱れる地方では、OFFにしてから、プリセットの選局つまみ(9ページ)で、きれいな画になるように調節してください。

❷自動カラースイッチ[AUTO]

色調を自動的に見やすい範囲内におさえる、自動カラー回路のスイッチです。

ON(右):ふだんはこの位置でごらんください。ONにしておけば、色の濃さ(COLOR)、色あい(HUE)は一定の見やすい範囲内におさえられます。

OFF(左):とくに見にくい色のときや、お好みの色でごらんになりたいときは、OFFにしてから色調を調節してください。OFFにすると色の濃さつまみ③、色あいつまみ④で調節できる色の範囲が広がります。

❸色の濃さつまみ[COLOR]　❹色あいつまみ[HUE]

この2つのつまみで、色の濃さ(飽和度)と色あい(色相)を調節します。使いかたは4ページ〝色を調節するには〟のとおりです。

● 2つのつまみは交互に数回調節すると、きれいな色調にあわせられます。肌が自然な色に見えるようにあわせてください。

● 2つのつまみとも、白黒番組には関係がありません。

❺ピクチャーつまみ[PICTURE]

一度きれいな画に調節したあとで、お部屋の明るさを変えたときは、このつまみひとつで、画面(色の濃さ　コントラスト　明るさ)がバランスよく、見やすいように調節できます。明るい部屋では↻に、暗い部屋では↺にまわします。

ふつうの明るさのお部屋では↻まわし80%位が標準位置です。

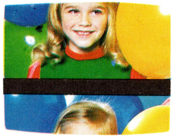
❻明るさつまみ[BRIGHT]

画の明るさ(輝度)を調節するつまみです。↻まわしで明るくなります。ふだん触れる必要はありませんが、ピクチャーつまみ⑤を調節しても、まだ画が暗かったり明るすぎるときは、このつまみで調節してみてください。左右にまわる、まん中(カチッととまる所)が標準位置です。

❼垂直同期(すいちょくどうき)つまみ[V HOLD](テレビの裏、中央)

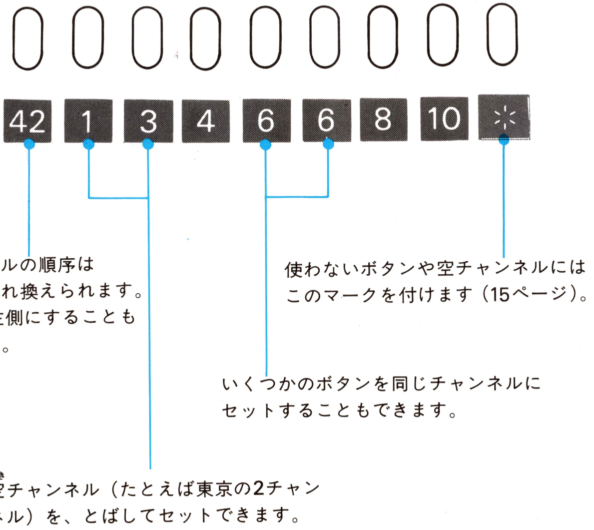
ふだん触れる必要はありません。画が上下に分かれたり、流れたりするときに調節します。

調節は、画が下から上ってきて、ピタリととまるようにあわせると安定します。



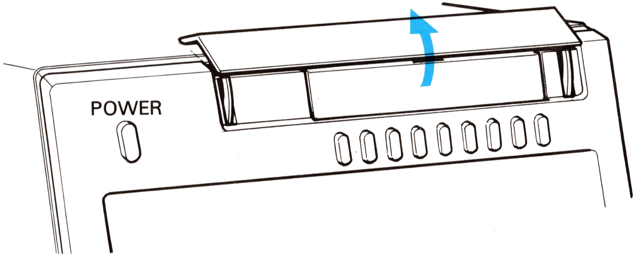
プリセット

プリセットとは、チャンネルボタンごとに見たいチャンネルを決めて、そのチャンネルがきれいに映るように、前もってテレビを調整することです。一度プリセットすれば、あとはボタンを押すだけで、お望みのチャンネルを手早く選ぶことができます。
工場出荷時には 1. 2. 3. 4. 6. 8. 10. 12. 39. の各チャンネルが映るようにプリセットしてありますが、これはお使いになる地域の放送チャンネルに応じて、自由に変えられます。
ご自分でプリセットを変えるには、次のようにしてください。

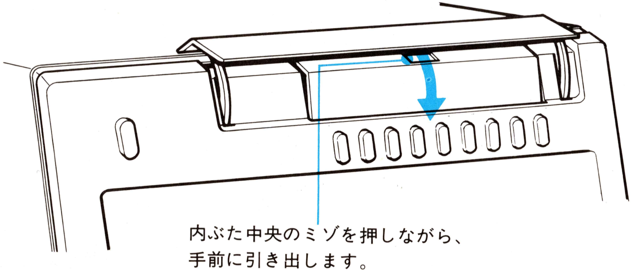


準備

❶ 外ぶたをあけます。



❷ 内ぶた（半透明なプラスチック板）を取りはずします。



プリセット機構

内ぶたをはずすと、中にプリセット機構があります。

自動微調整スイッチ[AFT]
プリセットする前はOFF(ONから押すと上がる)、プリセットした後ではON(押しこむ)に戻してください。

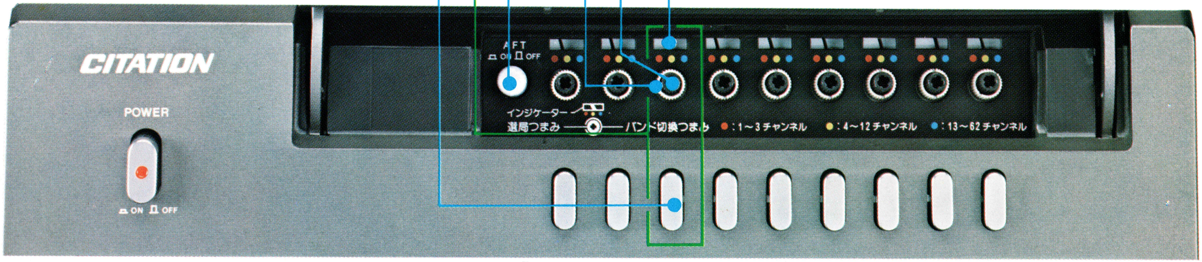
プリセット機構はタテ1列が1組です。
これが横に9組あります。この9組のプリセット機構はチャンネルボタン9個と、それぞれ対応しています。

チャンネルボタン
このボタン（たとえば左から3つ目）を押すと、そのチャンネル数字が照明されて、これに対応するプリセット機構（左から3つ目）が働き、現在プリセットしてあるチャンネルが映ります。

バンド切換つまみ(外側の白いつまみ)
押したボタンの上にあるバンド切換つまみを切換えて、プリセットしたいチャンネルの範囲(バンド)を選びます（くわしくは11ページ)。

選局つまみ(内側の黒いつまみ)
バンド切換つまみでバンドを切換えたあと、このつまみをまわして、プリセットしたいチャンネルがきれいに映るように、あわせます。

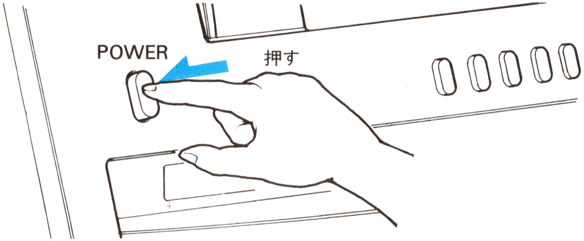
インジケーター(ダイヤル窓)
選局つまみで希望チャンネルにあわせるとき、希望チャンネルを探し出す目安になります。
選局つまみを↷へ(または↶へ)まわすと、インジケーターの黒い指針は右へ(または左へ)ゆっくり動きます。
指針がチャンネルのおおよその位置を示します。



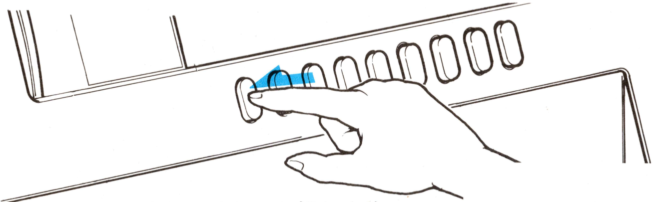
プリセットのしかた

ここでは一番左のボタンを6チャンネルにプリセットする場合を例にとります。

❶電源スイッチを入れます。

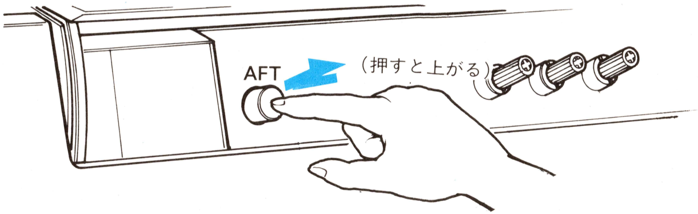


❷プリセットしたいチャンネルボタンを押します。



ここでは一番左のボタンを押します。

❸自動微調整スイッチ[AFT]をOFFにします。

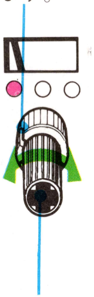


❹バンド切換つまみと選局つまみで、希望するチャンネルにあわせます。（実際の方法は次ページ）

1〜3チャンネルの内のどれかにプリセットしたいとき
（VHF low channel）

（1）外側の白いつまみのミゾを赤●にあわせます。

（1〜3）

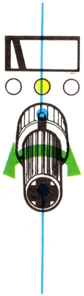


（2）内側の黒いつまみをまわして希望チャンネルにあわせます。

4〜12チャンネルの内のどれかにプリセットしたいとき
（VHF high channel）

（1）外側の白いつまみのミゾを黄●にあわせます。

（4〜12）



（2）内側の黒いつまみをまわして希望チャンネルにあわせます。

13〜62チャンネルの内のどれかにプリセットしたいとき
（UHF channel）

（1）外側の白いつまみのミゾを青●にあわせます。

（13〜62）

（2）内側の黒いつまみをまわして希望チャンネルにあわせます。

実際の方法は、次ページ以下をごらんください。

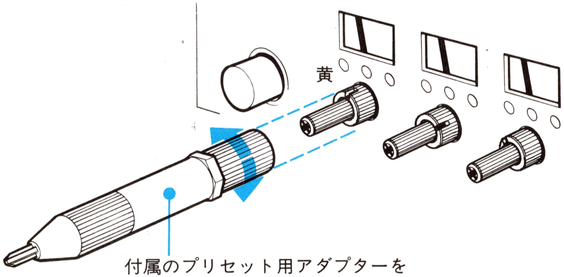
実際の方法

❶外側の白いつまみを切換えます。

ここでは、一番左のボタンを6チャンネルにプリセットしたいのですから、一番左のつまみを、黄色（4～12チャンネル）の位置にします。

（黄色で、しかもキチンととまる位置にあわせてください)。

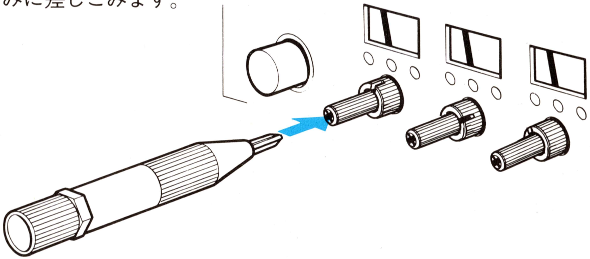
これでいったん画が消えます。



付属のプリセット用アダプターを使うと、楽に切換えられます。

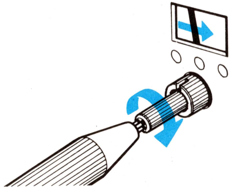
❷内側の黒いつまみを、希望するチャンネルにあわせます。

まず、プリセット用アダプターを、前図とは逆向きにして、内側の黒いつまみに差しこみます。



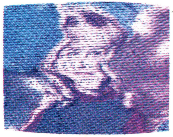
❸そのまま↷へ何回もまわします。

インジケーターの指針が、ゆっくり右へ動きます。



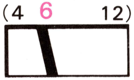
あるチャンネルが映りはじめます。

まわすにつれて、画が乱れたり画面が暗くなったりしますがきれいに映るまで、選局つまみ（黒）をまわしてゆきます。



④新聞のテレビ番組表を見て、映っている番組が何チャンネルのものか、確かめます。

インジケーターの指針の位置でも、おおよその見当がつきます。また別のテレビを使って、番組を見比べるのも一法です。



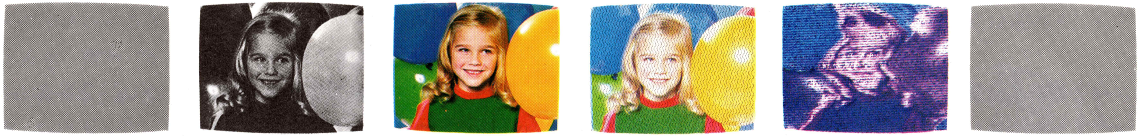
⑤4チャンネルや5チャンネルの番組が映っているときは、さらに↷へまわします。また、7チャンネル、8チャンネル…が映っているときは、↶へ戻して、6チャンネル（希望チャンネル）がきれいに映るまで調節してください。

●インジケーターの指針が右いっぱい（あるいは左いっぱい）までくると、それ以上はカチンカチンと音が出てカラまわりします。
この場合は、それ以上まわさず反対方向に戻してください。

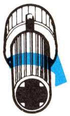
以上、一番左のボタンを6チャンネルにプリセットする場合を例にとりました。

同様に各ボタンをプリセットしてください。2番目のボタンを押し、すぐ上にある2番目のプリセット機構を、同じようにして、お好みのチャンネルにプリセットします。（11ページ参照）
以下、次々に3番目、4番目…のボタンをプリセットしてゆきます。

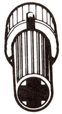
画面は、選局つまみによってこんなに変化します。（自動微調整（AFT）スイッチがOFFの場合）



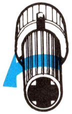
さらにまわすと隣のチャンネルが出る ← うつらない（暗くなる） ← ぼやける色がつかない ← 希望チャンネルの正常画面 → しまもようが出る → 画がくずれる → うつらない（暗くなる） → さらにまわすと隣のチャンネルが出る



↶へ回しすぎ
（↷へ戻してください）



正しい調整位置



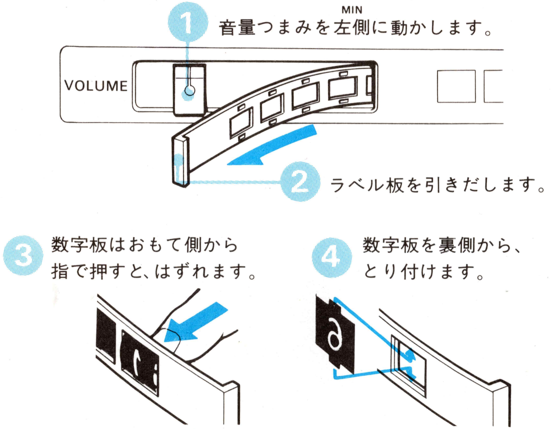
↷へ回しすぎ
（↶へ戻してください）

プリセットが終ったら…

❶ 自動微調整スイッチ［AFT］をONに戻します。

❷ ラベルを付けかえます。

チャンネルの表示には工場出荷時の数字が差しこまれています。ご自分でプリセットを変えたときは、これに応じて数字を差しかえてください。



●付属のラベルには、数字のほかに、アルファベット、＊印などがあります。お好みによって使い分けてください。

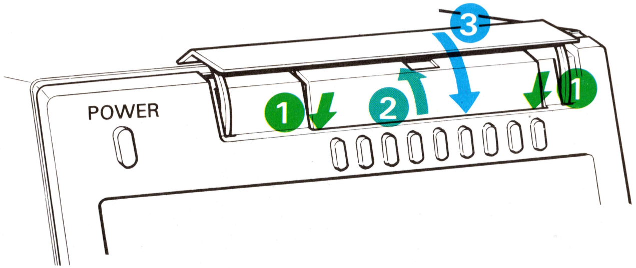
例えば＊印は空チャンネルにご利用ください。また［ビデオ］はビデオデッキを使うときの空チャンネル用にご利用ください。

❸ 結果を確かめます。

プリセットしたボタンを次々に押して、全てのチャンネルがきれいに映ることを確かめます。また、映るチャンネルがボタンの数字と正しくあっていることを確かめます。

❹ ふたを閉じます。

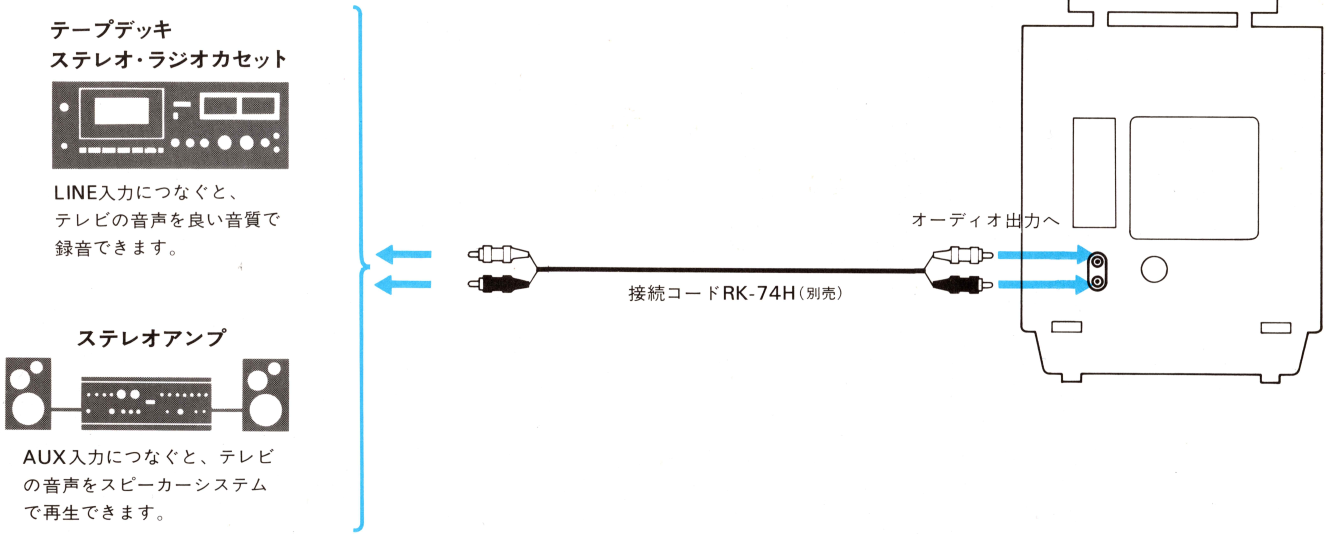
お子様のいたずらを防ぐため、内ぶたを元どおりにとりつけて、外ぶたを閉じます。



あとはボタンを押すだけ。ワンタッチの操作で、自由にチャンネルが選べます。

オーディオ機器との組合せ

後面のオーディオ出力端子を利用してオーディオ(音響)機器と組合せると、テレビの音を良い音質で録音・再生できます。



つなぎかた

図のような 別売 接続コードをご利用ください。

テレビの音声はモノーラルなので、上下の端子とも同じ音が出ています。

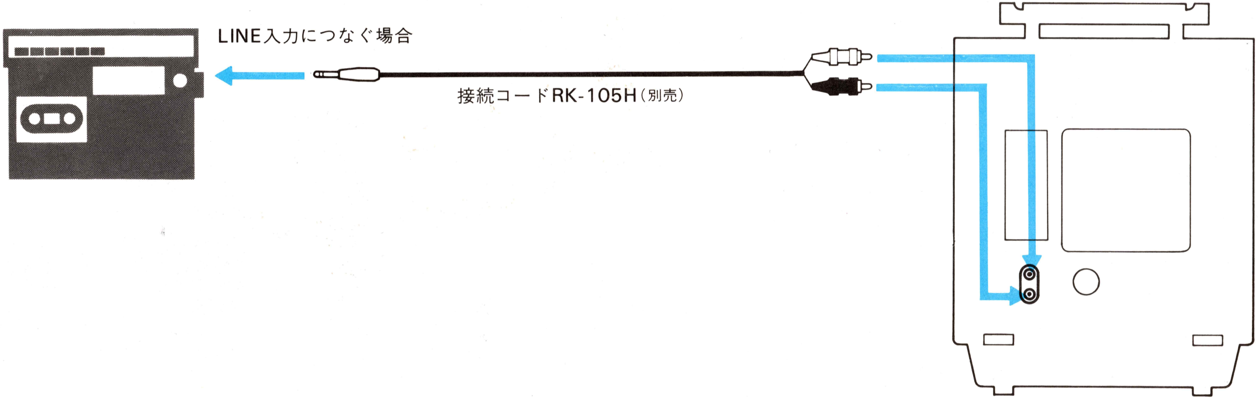
接続コードのL・Rは、逆につないでもかまいません。またL・Rどちらか一方でも使用できます。

使いかた

録音レベルや再生音量は、オーディオ機器側のつまみで調整してください。テレビのVOLUMEつまみがどの位置でも、録音レベルには影響ありません。オーディオ出力端子を使った時でも、VOLUMEつまみでテレビの音量は自由に調整できます。

ラジオカセットやカセットレコーダー

テレビの音声が、よい音質で録音できます。



使用上のご注意

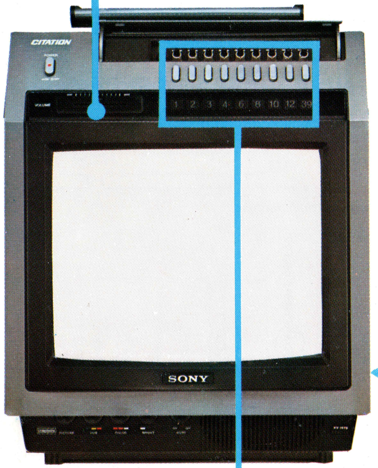
スピーカーシステムとテレビは、なるべく離してお使いください。スピーカーの磁気により、画面に色ムラを生ずることがあります。

FM受信機は、なるべく離すか電源を切ってください。相互干渉により、画面にしま模様の出ることがあります。

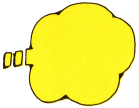
オーディオ機器(録音機、プレーヤー、チューナーなど)とテレビとは、なるべく離してお使いください。近くに置くとブーンという雑音(誘導ハム)の出ることがありますので、気にならない程度まで離してご使用ください。

このほか、ご不明な点はお買上げ店にお問合せください。

故障かな？もう一度調べましょう。



画は出るが、音が出ない



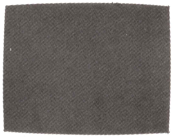
VOLUME
音量つまみを右に動かす
イヤホンが[・]につながれていると
音が出ません

きれいにうつらない

自動微調整をOFFにして、プリセットし直す。そのあと自動微調整をONに戻す
（くわしくは8～14ページ）

バンド切換つまみ（正しく切換えないと画がでません）
（11ページ）

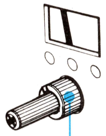
色がつかない　　音は出るが画が出ない
色がおかしい　　画面が暗い



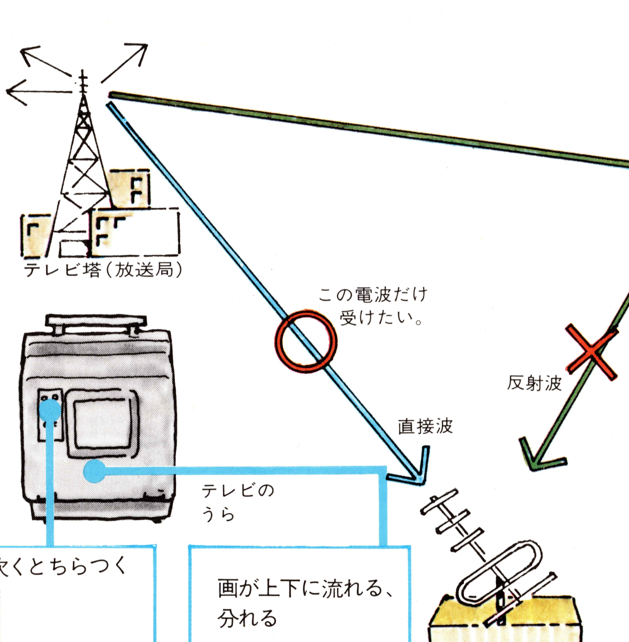
各つまみを調節しなおしてみる（4～7ページ）

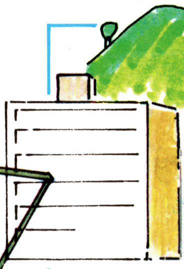
画・音が出ない

（チャンネルの表示ランプもつかない）



バンド切換（白いつまみ）が途中でとまっていませんか？
カチンととまる位置にあわせます。
（11、12ページ）





画が二重三重になる

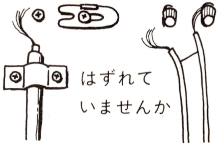
●山があったり、ビルが立ったりすると、そこで反射した電波がアンテナに飛込み、二重像を生ずることがあります。

アンテナの位置・方向・高さを調節

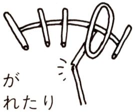
急に二重像を生じた場合はお買上げ店などにご相談ください。

雪が降るような画、うすい画、風が吹くとちらつく

切換金具の位置は正しいですか。

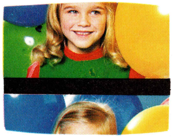


はずれていませんか

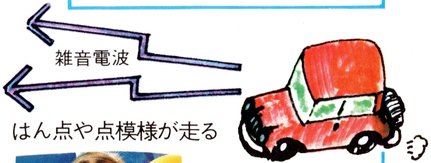


アンテナが風でこわれたり曲っていませんか
●寿命は3～5年
海辺では1～2年です。

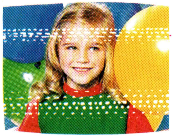
画が上下に流れる、分れる



V HOLD
垂直同期つまみを調節



はん点や点模様が走る



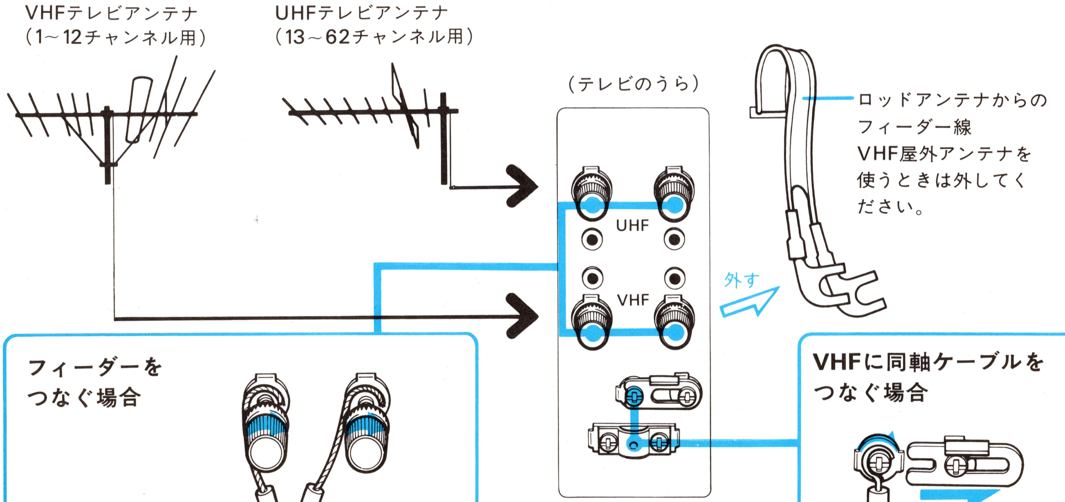
●ヘヤードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因

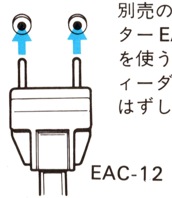
アンテナはなるべく道路から離してください。

屋外アンテナ

電波の入口であるアンテナは、とても大切な働きをします。どんなに優れたカラーテレビでも、きれいなカラーが楽しめるかどうかはアンテナにかかっているとさえ、言えます。

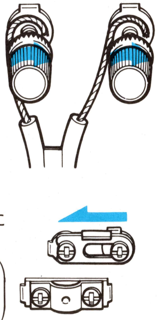
付属のアンテナで良く映らない所では屋外アンテナをお使いいただくと見違えるように良くなります。アンテナ、アンテナ線には色々な種類がありますので、くわしくはお買上げ店でご相談のうえ、お選びください。





別売のアンテナコネクターEAC-12(¥300)を使うと300オームフィーダーが簡単に付けはずしできます。

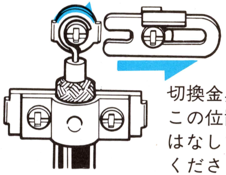
**フィーダーを
つなぐ場合**



切換金具はこの位置につけてください。
(切換金具はUHF放送の場合は関係ありません。)

(注)VHFアンテナ端子には、同軸ケーブルかフィーダーか、どちらかをつないでください。両方つなぐ必要はありません。

**VHFに同軸ケーブルを
つなぐ場合**

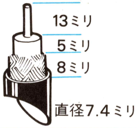


切換金具はこの位置にはなしてください。

ねじはドライバーですべて固くしめてください。

細い同軸ケーブルのとき(3C-2V)

太い同軸ケーブルのとき(5C-2V)



保証書とアフターサービス

お買上げ時

保証書を必ずお受取りください。

保 証 書

お買上げ店名、住所、
お買上げ年月日を
お確かめください。
これらの記入がないと
無効になります。

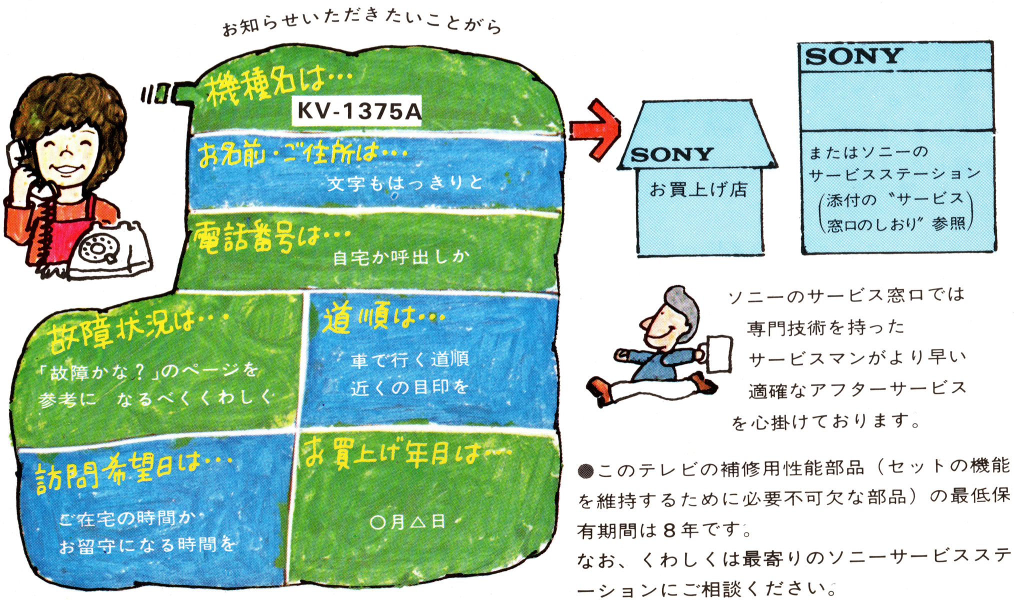
保証期間中でも
有償になる場合が
あります。
保証規定をよくお読みください。

再発行いたしかね
ますので、大切に
保管してください。

テレビの調子が悪い時は

簡単な調節で直ることが
よくあります。
18ページを
ご覧になって、
お調べください。

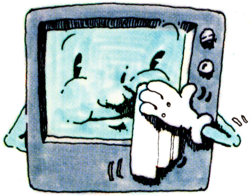
アフターサービスを
お申しつけください。



ソニーのサービス窓口では
専門技術を持った
サービスマンがより早い
適確なアフターサービス
を心掛けております。

●このテレビの補修用性能部品（セットの機能を維持するために必要不可欠な部品）の最低保有期間は８年です。
なお、くわしくは最寄りのソニーサービスステーションにご相談ください。

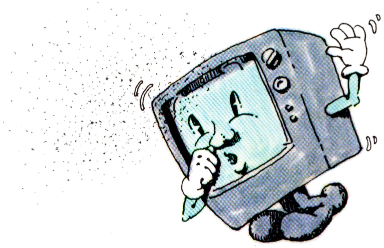
お手入れ



キャビネットや画面は、やわらかい布でおふきください。
キャビネットの汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤液にやわらかい布をひたし、かたくしぼってから汚れをふきます。このあと乾いた布でカラぶきしてください。この際、必ず電源スイッチを切りましょう。

ほこりはテレビの大敵

内部にほこりがたまると、故障や事故の原因になることがあります。いつも快適にお使いいただくため、年に一度くらいは内部の掃除・点検をお買上げ店などにご相談ください。



主な規格

受信方式	NTSC方式
カラー再生方式	トリニトロン方式
受信チャンネル	VHF　1～12チャンネル
	UHF　13～62チャンネル
アンテナ	VHF　300Ω外部アンテナ用端子(ロッドアンテナつき)
	75Ω(300Ω/75Ω切換金具つき)
	UHF　専用外部アンテナ端子
ブラウン管	トリニトロン90度偏向13型
スピーカー	8×12cm　楕円型
音声出力	2W
オーディオ出力端子	周波数特性　20Hz～15kHz $^{+0}_{-3}$dB
	出力レベル　0.5Vrms　固定 (1kHz　100%変調時)
	出力インピーダンス　5kΩ
電源	AC　100V　50/60Hz
消費電力	65W
大きさ	337×437×365.5mm(幅/高さ/奥行)
重さ	12.4kg
付属品	イヤホン　ME-20B　1個
	チャンネルラベル　1組
	プリセットアダプター　1個
	UHFループアンテナ　1個

特長

●プラス・トリニトロン

今までの蛍光面をさらに発展させた新ストライプ蛍光面を採用。前面ガラスの透過率、電子ビームの密度もアップされ、従来以上にきめの細かいくっきりした画になりました。

●9局プリセットの電子同調式チューナー〝ジェットセンサー〟

前もってお望みの局をセットしておけば、あとはボタンを押すだけ。ワンタッチで手早くチャンネルが選べます。

●エコノクイック

スイッチを切ると完全に電気がカットされる節電型。プレヒート電力をまったく必要とせず、しかもスイッチをいれれば数秒で画が現われます。

●ピクチャーマチック

つまみひとつで全体的な色（色の濃さ　コントラスト　明るさ）が、バランスよく調節できます。

●オーディオ出力端子

テープデッキやステレオアンプとつなぐと、良い音質でテレビ音声が録音・再生できます。

●操作が楽な自動調整（自動微調整と自動カラー）

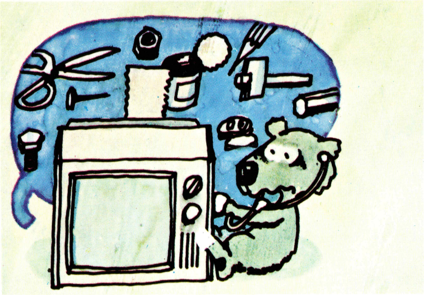
●このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。

●規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

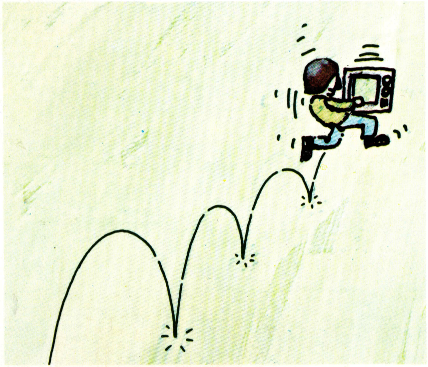
●TRINITRON（トリニトロン）は、三位一体を意味するTRINITY（トリニティ）と　電子を意味するELECTRON（エレクトロン）を語源として作られたソニー株式会社の登録商標です。

このテレビと、ソニーのBetamax（ベータマックス）ビデオデッキ（別売）を組み合わせて使いますと、テレビ番組の録画・再生ができます。

万一の事故を防ぐために これだけはお気をつけください



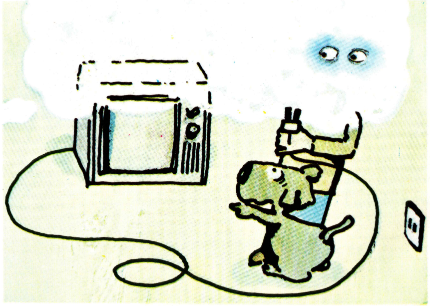
異物を入れないでください
金属片や紙などを入れますと、感電や火事の原因になります。



強いショックを与えないでください
持ち運びの際は衝撃を与えないように、特にブラウン管（画面）にはご注意ください。

水や熱は禁物です
水の入った花びんやコップを上に乗せないでください。水が入ると故障の原因になります。また、ストーブのような熱器具の近くに置くことは避けてください。
もしも水や異物を入れたときは、すぐにスイッチを切り、アフターサービスをお申しつけください。

裏ぶたをあけないでください。
電圧の高い部分があります。内部にさわると危険です。



異常のときは…
急に画が出なくなった、異常な音、におい、煙が出た時は、スイッチを切り、必ず電源コードを抜いてから、お近くのソニー特約店、電気店などにご連絡ください。

ソニー株式会社　〒141　東京都品川区北品川6-7-35　お問合せ(03)448-3311　Printed in Japan

4-495-671-**02** (2)